

令和4年度 農山漁村振興交付金事業 実績報告書
(農福連携対策のうち普及啓発等推進対策事業)
(農福連携の「福」への取組拡大等の推進)

【目次】

1. 今後の取組拡大に資するような障害者等に対する農作業体験実習等の提供モデル	
(1) 都市部在住の当事者が地方へ出向いて農作業を行う取組	2
(2) 同一地域在住の当事者が取組主体に出向いて農作業を行う取組	
① 社会福祉法人 京都聴覚言語障害者福祉協会 さんさん山城 (京都府京田辺市)	3
(3) スタディツアーの取組	
① 埼玉福興 株式会社 (埼玉県熊谷市)	6
② 社会福祉法人 ゆずりは会 菜の花 (群馬県前橋市)	9
③ 京丸園 株式会社 (静岡県浜松市)	12
④ 社会福祉法人 博愛会 住吉浜リゾートパーク (大分県杵築市)	15
2. 障害者等に対する農作業体験実習等を提供可能な農福連携の取組主体	
(1) 社会福祉法人 白銀会 (茨城県石岡市)	18
(2) 社会福祉法人 ゆずりは会 菜の花 (群馬県前橋市)	19
(3) 社会福祉法人 土穂会 ピア宮敷 (千葉県いすみ市)	20
(4) 埼玉福興 株式会社 (埼玉県熊谷市)	21
(5) NPO法人 支援センターあんしん (新潟県十日町市)	22
(6) 京丸園 株式会社 (静岡県浜松市)	23
(7) 社会福祉法人 京都聴覚言語障害者福祉協会 さんさん山城 (京都府京田辺市)	24
(8) 社会福祉法人 青葉仁会 (奈良県奈良市)	25
(9) 社会福祉法人 博愛会 住吉浜リゾートパーク (大分県杵築市)	26
3. 事業実施結果の検証及び今後の方向性等	27

1. 今後の取組拡大に資するような障害者等に対する農作業体験実習等の提供モデル

(1) 都市部在住の当事者が地方へ出向いて農作業を行う取組

① 取組のねらい

農福連携の「福」への取組拡大を加速させるため、生活圏内に農地が少なく農業に馴染みがない都市部在住の障害者が、農業現場を将来の就労の場として選択することに資する機会提供。また、補助事業終了後、民間事業として自走できるモデルとすること。

② 企画概要

体験ツアーの実施場所は、全国的な広がりを持たせるため群馬県前橋市（ゆずりは会菜の花）、静岡県浜松市（京丸園）、京都府京田辺市（さんさん山城）、大分県杵築市（博愛会）とした。なお、現地打合せでスタディツアーに適していると判断した埼玉県熊谷市（埼玉福興）も加えて、5カ所の設定とした。

体験ツアーの訴求対象は障害者を含む親子（基本設定は両親と高校生年代）とし、行程は誘引要素として観光色を濃くした（温泉等リゾート1泊+新幹線・特急列車 京都を除く）。

金額設定は、事業初年度ということで実績を得ることに重きを置き、自走可能性に配慮しながらも補助率7割程度と価格訴求力を高めた。



③ 募集方法

福祉組織ルートとして、一般社団法人手をつなぐ育成会連合会の役員から紹介を受け、東京都育成会、静岡県育成会、名古屋市育成会、大阪市育成会、福岡市育成会の各事務局へ募集依頼。募集方法は、各組織の会合での周知や支部役員から親御さんへの伝達等。募集開始時期は1月中旬。

また、次年度取組の連携も含め福岡県教育委員会特別支援教育課に特別支援学校の行事として大分県の福祉施設へ出掛けられないか尋ねたところ、やれるとすれば県内であると明言された。

④ 募集結果

結果として集客数はゼロであった。原因等は後段で分析する。

(2) 同一地域在住の当事者が取組主体に出向いて農作業を行う取組

① 社会福祉法人 京都聴覚言語障害者福祉協会 さんさん山城

ア 法人概要

所在地	京都府京田辺市興戸小モ詰 1 8 - 1		
代表者	施設長 新免 修	開所年	平成 2 3 年
主産品	茶、なす、えびいも	耕作面積	1.2 ha

イ 取組主体の選定理由

(ア) 農福連携に取組む先進事業所のなかでもトップリーダーのひとつであること。

(イ) 全国的に取組の広がりを持たせる意味から、西日本の取組主体のひとつとして選択した。

ウ 遠隔地募集で結果が得られず福祉事業所ルートで近地募集を行う

農福体験ツアーとして2月11日・18日・25日の各日実施で、募集ルートを「一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会」役員から大阪市の育成会事務局に協力要請する形としたが、結果は集客ゼロであった。

募集対象を事業所とつながりのある大阪府・京都府の特別支援学校とした結果、南山城支援学校高等部（精華町）の2年生男子生徒3名がそれぞれ母親とともに参加した。

エ 参加者の申込み経緯

同校では体験実習カリキュラムでもさんさん山城に生徒を派遣しており、現在卒業生が2名同事業所で就労している。今回は事業所施設長から同校進路指導担当教諭に依頼し、進路指導面接の場で生徒の母親に勧めてくれ参加に至った。

オ 体験プランの概要

○実施日 令和5年2月18日（土）

○行 程 さんさん山城集合

午前、圃場にて「京の花菜」収穫体験

昼食はコミュニティカフェにてワンコインランチ

午後、施設にて濃茶大福づくり体験

○負担金 昼食代実費



カ 当日のカリキュラムの様子

カリキュラム	体験風景
<p>①農福体験ツアー開会 主催者・受入施設から挨拶。</p> <p>②「京の花菜」の圃場 担当者から作業説明を受け、参加者各自が収穫用はさみで収穫。</p> <p>③大根の圃場</p> <p>④「京の花菜」の調整作業 定規を当てて決まった大きさに切り揃える。二枚葉を残して調整する。155-160gの目方で袋詰め。シール貼り。</p>	 <p>②「京の花菜」の圃場</p>  <p>④「京の花菜」調整作業</p>
<p>⑤コミュニティカフェで昼食 ハヤシライスとサラダのワンコインランチ (コミュニティカフェでは、さんさん山城で育てた京野菜や地域特産品を使った日替わりワンコインランチを提供しています)</p>	 <p>⑤ワンコインランチ</p>
<p>⑥茶畑見学（碾茶） 抹茶の原料。ゴールデンウイーク明けに、年に一回手摘みで茶摘みを行う。</p> <p>⑦玉葱（種蒔）、えび芋の圃場見学</p> <p>⑧抹茶クッキーづくり体験 棒状の生地をスライス。7枚×5列を天板に並べる。オーブンで17分焼く。</p> <p>⑨濃茶大福づくり体験 餡と抹茶をこねる。20gを計って丸める。餅粉と砂糖と水で皮づくり。餡を皮で包む。</p> <p>⑩参加者集合 事業所玄関前で記念撮影。</p>	 <p>⑥茶畑見学</p>  <p>⑧抹茶クッキーづくり</p>  <p>⑨抹茶大福づくり</p>  <p>⑩参加者集合</p>

キ アンケート結果

1. 農福連携についてしていましたか。
知っていた（3） 知らなかった（0）
2. これまで農作業に携わったことはありますか。
ある（0） ない（3）
3. 今回の体験ツアーに参加してみてもいいかでしたか。
楽しかった（3） 楽しくなかった（0） その他（0）
4. 特に印象に残った作業があれば教えてください。
○花菜摘み、大根引きが楽しかったです。とても良い経験になりました。
○どの作業も楽しんでできました。特にクッキーを切る作業が楽しかったようです。またこのような機会があれば参加したいです。
○花菜収穫と花菜袋詰め。クッキーづくり、大福づくり。
5. 今回のツアーに参加してみて、農福連携に興味を持ちましたか。
興味を持った（3） 持たなかった（0）
6. 今後も同様の企画があれば参加したいと思いますか。
思う（3） 思わない（0）
7. ご意見、ご要望、感想等
○卒業生に会えて嬉しかったです。
○ハヤシライス美味しかったです。